

〈RICOH MP C306の特殊用紙対応状況〉

本留意事項は、リコーにて通紙確認した結果をもとにご使用になる際の留意点を記載したものです。

なお、お客様のご使用環境、用紙の取り扱い方法、2次加工（プレ印刷、ミシン目、スリット加工など）により、正しく通紙しない場合もあります。

※本ガイドは、特殊紙の印刷について、機器の性能を保証するものではありませんので予めご了承ください。

※各特殊紙の取り扱いやご使用上の留意事項は、全て各用紙メーカーのガイドをご参照ください。

※通紙方向は、プリンター給紙口に対しての短辺がSEF(Short Edge Feed)、長辺がLEF(Long Edge Feed)です。

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙サイズ	印刷面	給紙トレイ	積載可能枚数	本体設定		ドライバー設定		通紙方向	留意事項
							用紙種類	調整管理	原稿サイズ	用紙種類		
コート紙	PODグロスコート100	王子製紙	A4	片面	本体トレイ、手差し増設給紙トレイ1、2	上限するしまで	中厚口	-	A4	中厚口	SEF	(1) 温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を一枚ずつ取り除いてください。
コート紙	PODグロスコート128	王子製紙	A4	片面	本体トレイ、手差し増設給紙トレイ1、2	上限するしまで	厚紙1	-	A4	コート紙	SEF	(1) 温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を一枚ずつ取り除いてください。
コート紙	PODグロスコート158	王子製紙	A4	片面	本体トレイ、手差し増設給紙トレイ1、2	上限するしまで	厚紙2	-	A4	厚紙2	SEF	(1) 温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を一枚ずつ取り除いてください。
コート紙	PODマットコート100	王子製紙	A4	片面	本体トレイ、手差し増設給紙トレイ1、2	上限するしまで	中厚口	-	A4	中厚口	SEF	出力後、用紙を一枚ずつ取り除いてください。
コート紙	PODマットコート128	王子製紙	A4	片面	本体トレイ、手差し増設給紙トレイ1、2	上限するしまで	厚紙1	-	A4	コート紙	SEF	(1) 温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を一枚ずつ取り除いてください。

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙サイズ	印刷面	給紙トレイ	積載可能枚数	本体設定		ドライバー設定		通紙方向	留意事項
							用紙種類	調整管理	原稿サイズ	用紙種類		
コート紙	PODマットコート158	王子製紙	A4	片面	本体トレイ、手差し 増設給紙トレイ1、2	上限するし まで	厚紙2	-	A4	厚紙2	SEF	(1) 温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境 で、同一環境で保管された用紙を使用してくださ い。 (2) 出力後、用紙を一枚ずつ取り除いてくださ い。
コート紙	複写印刷用紙(135K)	RICOH	A4	自動 両面	本体トレイ、手差し 増設給紙トレイ1、2	上限するし まで	厚紙2	-	A4	厚紙2	SEF	留意事項はありません。
コート紙	複写印刷用紙(180K)	RICOH	A4	自動 両面	手差し	上限するし まで	厚紙3	-	A4	厚紙3	SEF	留意事項はありません。
コート紙	賞状レーザーホワイト A4-3	ハート	A4	片面	手差し	上限するし まで	厚紙3	-	A4	厚紙3	SEF	通紙後の用紙カールにより、用紙の落下、及びス タックが乱れることがあるため、早めに取り除い てください。
その他	マルチペーパー マイナス6%	アスクル	A4	自動 両面	本体トレイ、手差し 増設給紙トレイ1、2	上限するし まで	普通紙 1	-	A4	普通紙1	SEF	留意事項はありません。
その他	FC和紙タイプ(小雪)	RICOH	A4	自動 両面	本体トレイ、手差し 増設給紙トレイ1、2	上限するし まで	厚紙1	-	A4	厚紙1	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同 一環境で保管された用紙を使用してください。
その他	FC和紙タイプ(さざ波)	RICOH	A4	自動 両面	本体トレイ、手差し 増設給紙トレイ1、2	上限するし まで	中厚口	-	A4	中厚口	SEF	留意事項はありません。
はがき	リコピーPPC用紙ハガキ	RICOH	A4	自動 両面	本体トレイ、手差し 増設給紙トレイ1、2	上限するし まで	厚紙2	-	A4	厚紙2	SEF	留意事項はありません。
はがき	郵便はがき (旧官製はがき)	日本郵便	はがき	片面	手差し	上限するし まで	厚紙3	-	はがき	厚紙3	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同 一環境で保管された用紙を使用してください。
耐水紙	オーパーMDP F22MDP	日本製紙	A4	片面	手差し	上限するし まで	厚紙3	-	A4	厚紙3	SEF	出力後、用紙を一枚ずつ取り除いてください。
ラベル紙	タイプSAハクリ紙20面	RICOH	A4	片面	手差し	上限するし まで	厚紙1	-	A4	厚紙1	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同 一環境で保管された用紙を使用してください。
ラベル紙	タイプSAハクリ紙ノーカット	RICOH	A4	片面	手差し	上限するし まで	厚紙1	-	A4	厚紙1	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同 一環境で保管された用紙を使用してください。
ラベル紙	レーザープリンタラベル 宛名用 12面(28382)	エーワン	A4	片面	手差し	上限するし まで	厚紙1	-	A4	厚紙1	SEF	温度15～25℃、湿度30～70%の室内環境で、同 一環境で保管された用紙を使用してください。
ラベル紙	マルチプリンタラベル 宛名用24 面(31511)	エーワン	A4	片面	手差し	上限するし まで	厚紙2	-	A4	厚紙2	SEF	留意事項はありません。

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙サイズ	印刷面	給紙トレイ	積載可能枚数	本体設定		ドライバー設定		通紙方向	留意事項
							用紙種類	調整管理	原稿サイズ	用紙種類		
封筒	レーザー封筒 長3 ホワイト	ハート	長3	片面	手差し	上限しるしまで	厚紙3	-	長3	封筒	SEF	温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。
封筒	PODホワイト2.0 長3	山櫻	長3	片面	手差し	上限しるしまで	厚紙3	-	長3	封筒	SEF	温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。
封筒	PODホワイト2.0 洋長3	山櫻	洋長3	片面	手差し	上限しるしまで	厚紙3	-	洋長3	封筒	SEF	(1) 温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 通紙後の用紙カールにより、用紙の落下、及びスタックが乱れることがあるため、早めに取り除いてください。
封筒	ホワイト封筒 洋2	寿堂	洋2	片面	手差し	上限しるしまで	中厚口	-	洋2	封筒	SEF	後端1cmは印字できません。
名刺	ホワイトプリンス 10面付	山櫻	A4	片面	手差し	上限しるしまで	厚紙3	-	A4	厚紙3	SEF	留意事項はありません。
名刺	サイセイ 413	山櫻	A4	片面	手差し	上限しるしまで	厚紙3	-	A4	厚紙3	SEF	留意事項はありません。
名刺	名刺カード (光沢紙) LBP-VG10	コクヨS&T	A4	片面	手差し	1枚	厚紙3	-	A4	厚紙3	SEF	給紙を一枚ずつ行ってください。また出力後、用紙を一枚ずつ取り除いてください。
名刺	白無地A4判10面 名刺サイズ (51003)	エーワン	A4	片面	手差し	上限しるしまで	厚紙3	-	A4	厚紙3	SEF	(1) 温度15～25°C、湿度30～70%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。 (2) 出力後、用紙を一枚ずつ取り除いてください。
名刺	名刺用紙46R-A4	イトックス サプライ	A4	自動両面	本体トレイ、手差し 増設給紙トレイ1、2	上限しるしまで	厚紙2	-	A4	厚紙2	SEF	留意事項はありません。
名刺	名刺用紙55R-A4	イトックス サプライ	A4	片面	手差し	上限しるしまで	厚紙3	-	A4	厚紙3	SEF	留意事項はありません。

■郵便はがきについて

(1) 日本郵政株式会社発行の郵便はがきは再生紙を使用しています。

再生紙は特性上、紙粉の影響で紙詰まりが発生する場合があります。発生した場合には、使用説明書の清掃項目を参照の上、清掃を行ってください。

(2) 郵便はがきは時期によりはがきの紙質に相違がある場合がございます。あらかじめご了承ください。(年賀はがき・かもめーるも同様です)

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙 サイズ	印刷 面	給紙トレイ	積載可能枚 数	本体設定		ドライバー設定		通紙 方向	留意事項
							用紙 種類	調整 管理	原稿 サイズ	用紙 種類		

(3) 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなる場合があります。

(4) インクジェット専用タイプ、写真用はがきは、表面に塗布された溶剤が定着温度で溶解され、搬送経路にダメージを与える故障を起こす可能性がありますのでご使用にならないでください。（年賀はがき・かもめーも同様です）

(5) 郵便はがき印刷時の本体設定、ドライバー設定は各機種のマニュアルをご参照ください。

■耐水紙について

(1) 印刷物を屋外に掲示する場合など、掲示する環境条件（直射日光、湿気など）によっては、退色する場合があります。

(2) 厚紙にベタを印刷するような場合は、光沢ムラが生じる場合があります。

(3) 普通紙への印刷と比べ全体的にやや濃度が薄く、また部分的に色が薄く抜ける場合があります。（特にベタ部）

(4) 温度/湿度の影響を受けて異常画像が発生する場合があります。ご使用にならない時は、ビニール袋に入れ、密封して保管をするようにしてください。

■汎用ラベルについて

(1) 汎用ラベルは、裁断面等からの糊のはみ出しや紙粉の影響により、紙詰まりや異常画像の発生、感光体の早期劣化等を起こす場合があります。

(2) 搬送不良を未然に防ぐため、搬送経路に付着した糊・紙粉等は定期的に清掃して取り除いてください。

(3) 汎用ラベルは、温度/湿度の変化によりカールや変形を起こしやすいため、開封後はトレイ内に残った用紙を含めビニール袋に入れ、密封して保管するようにしてください。

(4) カール等変形した汎用ラベルは搬送不良の原因となりますのでご使用しないでください。

(5) 汎用ラベルの継ぎ足しは重送や紙詰まり等の搬送不良の原因となりますのでご注意ください。

■封筒について

(1) 通紙確認済み封筒をご使用ください。通紙確認済み封筒であっても環境によりシワが発生し、正しく印刷されない場合があります。特に湿度50%以上の多湿環境で使用する場合はシワが発生しやすくなります。

(2) 用紙は1枚ずつセットしてください。

(3) 用紙のセット方向は正しくセットしてください。

(4) 封筒を押さえて中の空気を抜き、折り目をしっかり押さえてからセットしてください。

また、封筒が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。

(5) 封筒長辺の端に細かいシワ、汚れ、または一部ぼやけて印刷される場合があります。

(6) 封筒の用紙が重なり合っている部分に印刷する場合スジが入ることがあります。

(7) 封筒が湿度の影響を受けないようビニール袋に密閉して保管し、出力の際必要なだけ取り出して印刷を行ってください。

(8) 封筒の裏面には印刷しないでください。